

第13期
2023年1月期
定時株主総会

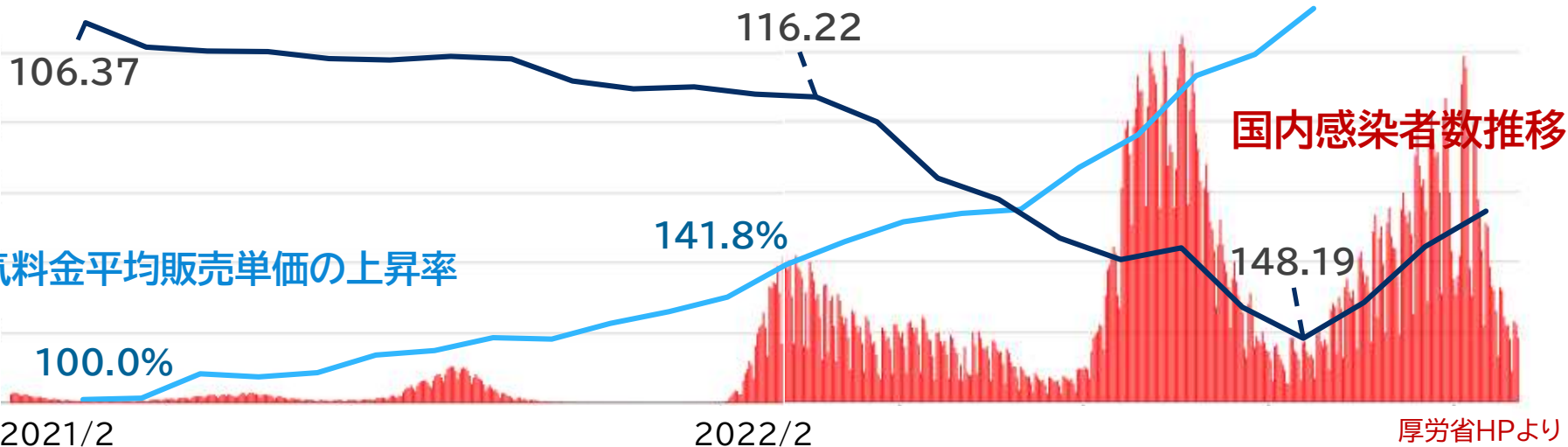
2023年4月27日
丸善CHIホールディングス株式会社

事業報告

事業環境

事業環境：外部要因の影響

月平均為替レート



前期(第12期)

当期(第13期)

新型コロナ感染者数
前年比12倍

急激な円安進行
2022年10月
32年ぶり安値更新

光熱費・物価上昇
最低賃金アップ

様々な要因から厳しい事業環境に

事業報告

2023年1月期 業績

2023年1月期(当期) 1,627億99百万円

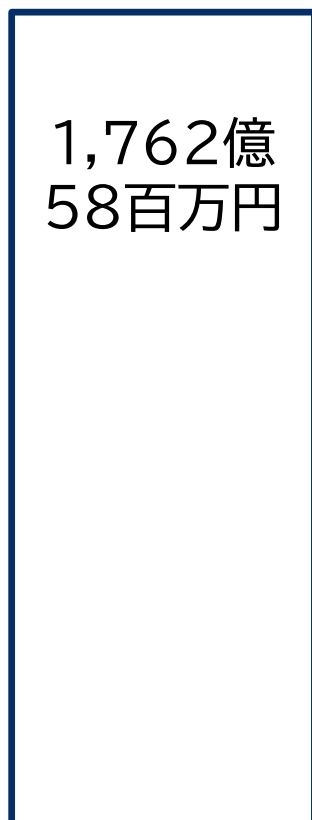
対前年 115億56百万円減

うち収益認識会計基準適用の影響
78億23百万円

2020年1月期
(コロナ前)

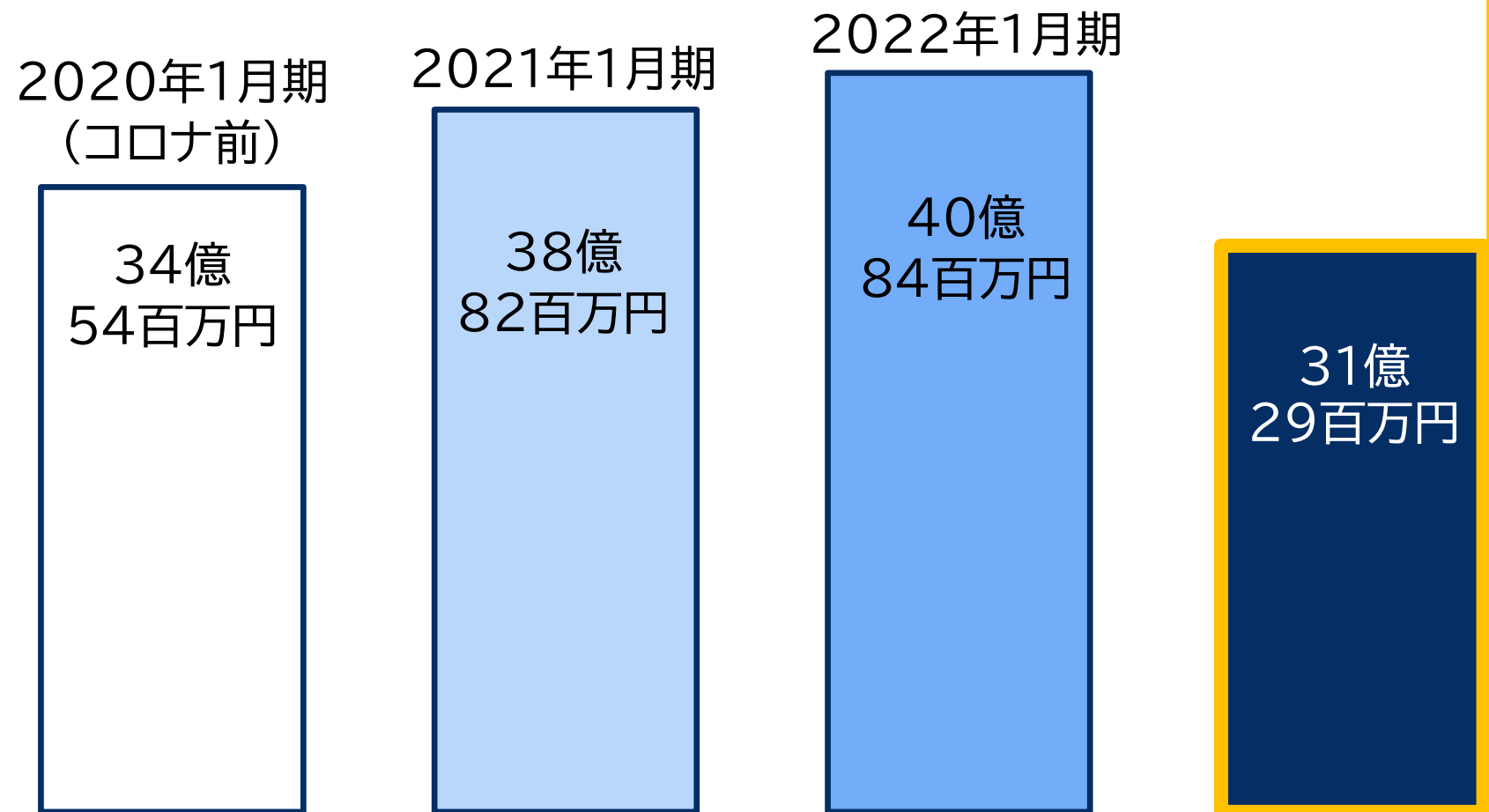
2021年1月期

2022年1月期



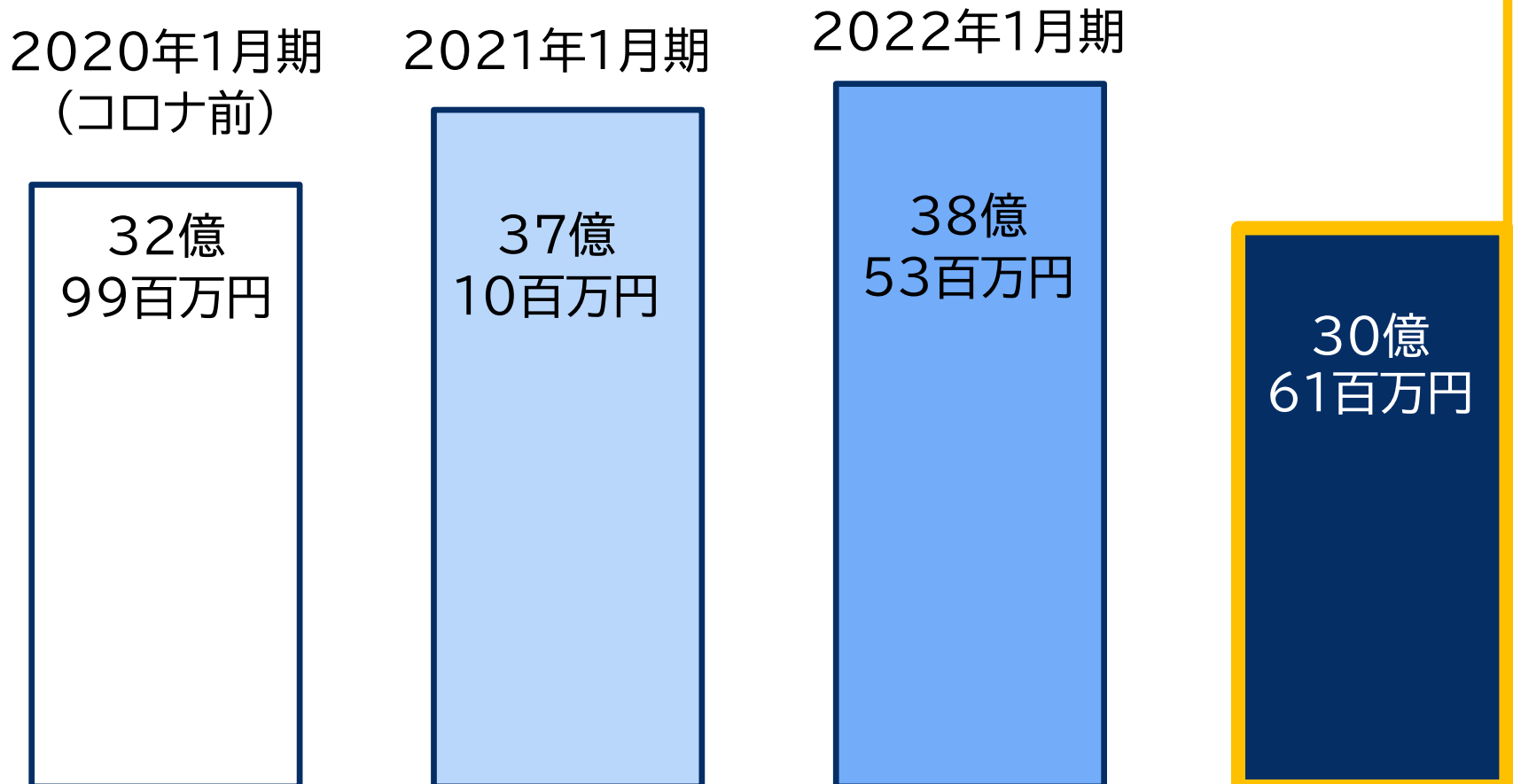
2023年1月期(当期) 31億29百万円

対前年
9億55百万円減



2023年1月期(当期) 30億61百万円

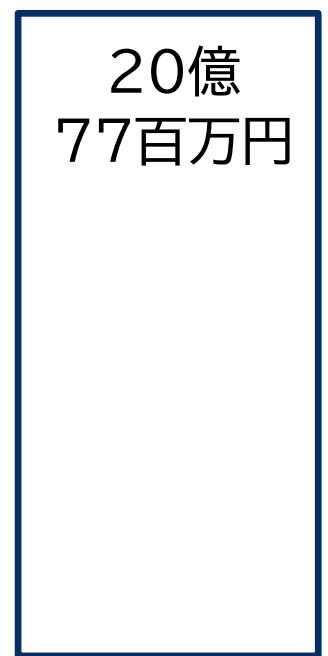
対前年
7億92百万円減



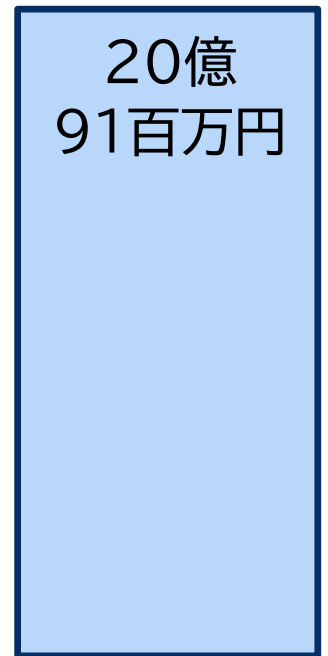
2023年1月期(当期)
17億73百万円

対前年
3億98百万円減

2020年1月期
(コロナ前)



2021年1月期



2022年1月期



事業報告

2023年1月期 セグメント概況

当社グループの事業分野

5つのセグメントで事業展開

丸善CHIホールディングス株式会社

店舗・ネット
販売事業

出版事業

文教市場
販売事業

図書館
サポート事業

その他事業

(株)丸善
ジュンク堂
書店

(株)岩崎書店

(株)図書館総
合研究所

丸善出版
(株)

丸善雄松堂(株)

(株)図書館流通センター

(株)図書流通

(株)明日香

グローバルリ
ソリューション
サービス(株)

(株)第一鋼鉄
工業所

(株)編集工学
研究所

売上高

479億76百万円

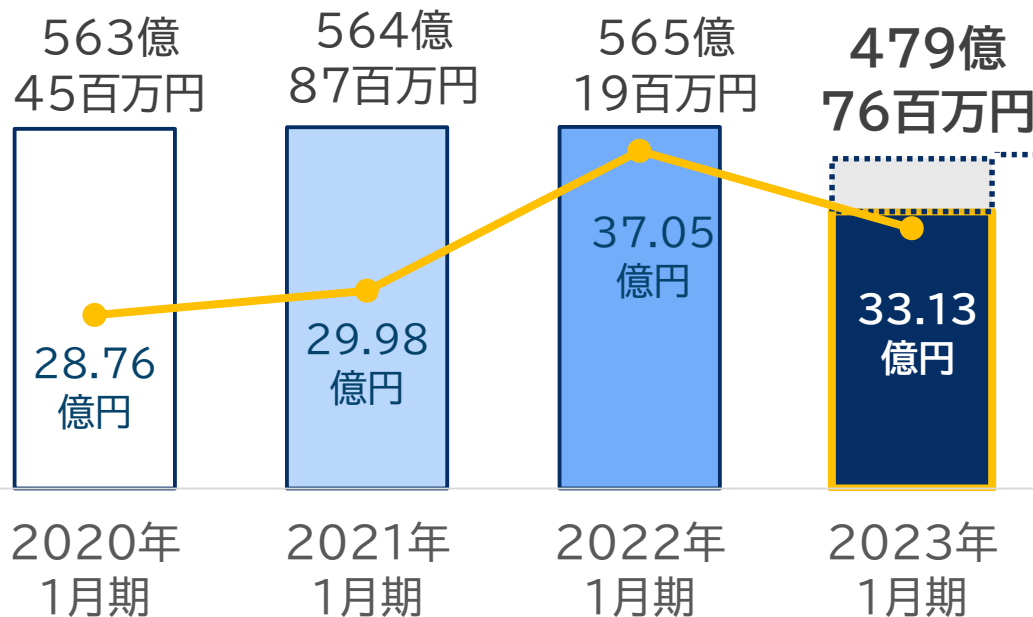
対前年 -85億43百万円

営業利益

33億13百万円

対前年 -3億92百万円

うち収益認識会計基準適用の影響 -53億37百万円



当期の概況

- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工において顧客の投資計画の進捗が遅れている影響で大型案件などの完工が減少した。
- 大学市場及び公共図書館向け書籍等販売が減少した。

減 収 減 益

店舗・ネット販売事業

・書籍・雑誌 文具・雑貨販売
 ・2023年1月期末店舗数：108店

売上高

663億10百万円

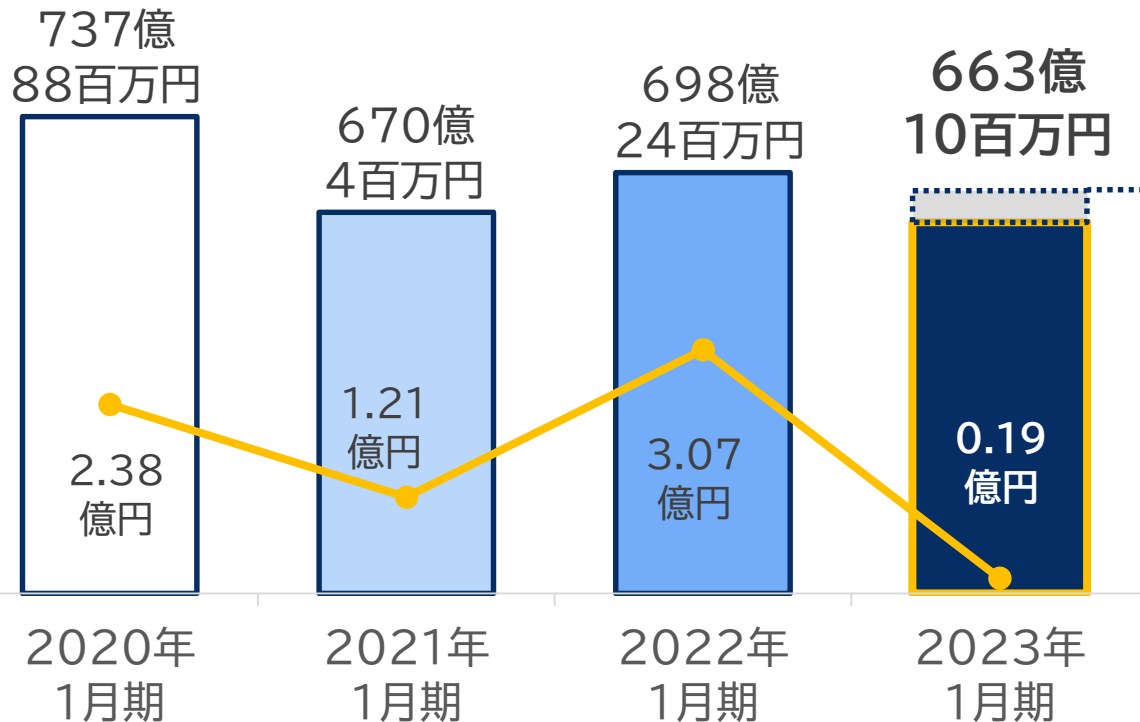
対前年 -35億14百万円

営業利益

19百万円

対前年 -2億88百万円

うち収益認識会計基準適用の影響 -22億43百万円



当期の概況

- 知育系雑貨の拡大や、オフィシャルショップやラウンジなど書籍以外の新規業態の店舗開店に取り組んだが、巣籠り需要も落ち着き、またオミクロン株の影響などで、とくに都心で来店客数が伸びなかった。

減 収 減 益

図書館サポート事業

- ・業務受託：カウンター業務、目録作成、蔵書点検等
- ・運營業務：指定管理者制度、PFI(民間資金等活用事業)

売上高

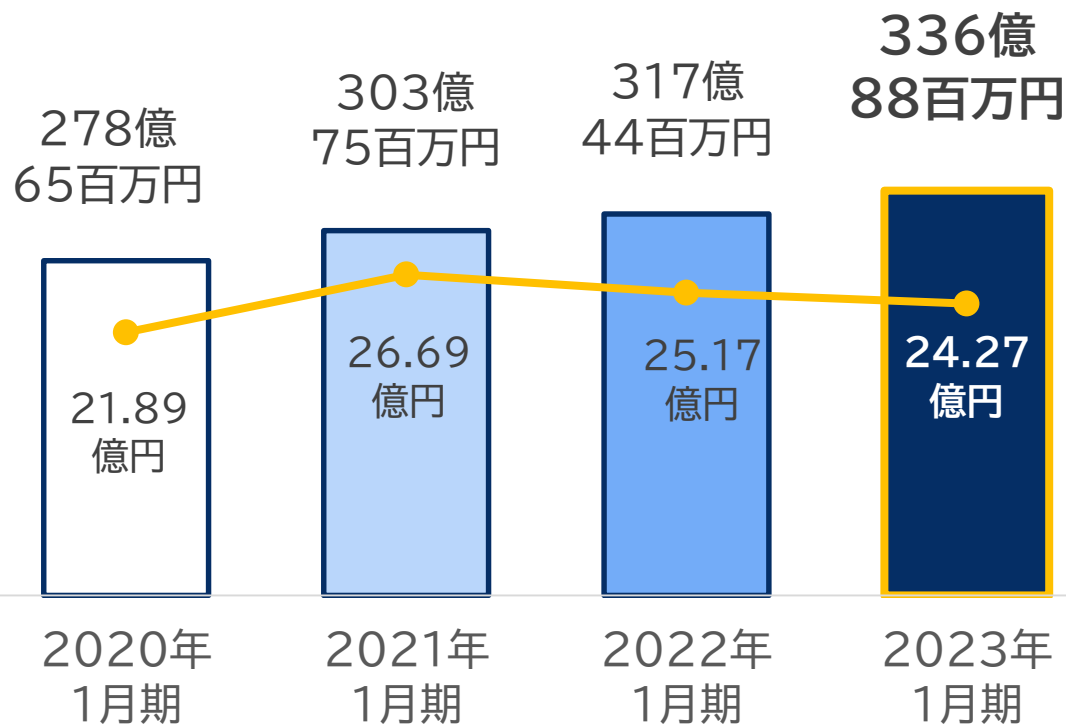
336億88百万円

対前年 +19億44百万円

営業利益

24億27百万円

対前年 -90百万円



当期の概況

- 図書館受託館数は1,786館(対前+89館)となった。
- 労働市場全体での賃上げの影響もあり人件費が上昇、また水道光熱費高騰も大きく影響した。

増収減益

売上高

41億21百万円

対前年 -1億30百万円

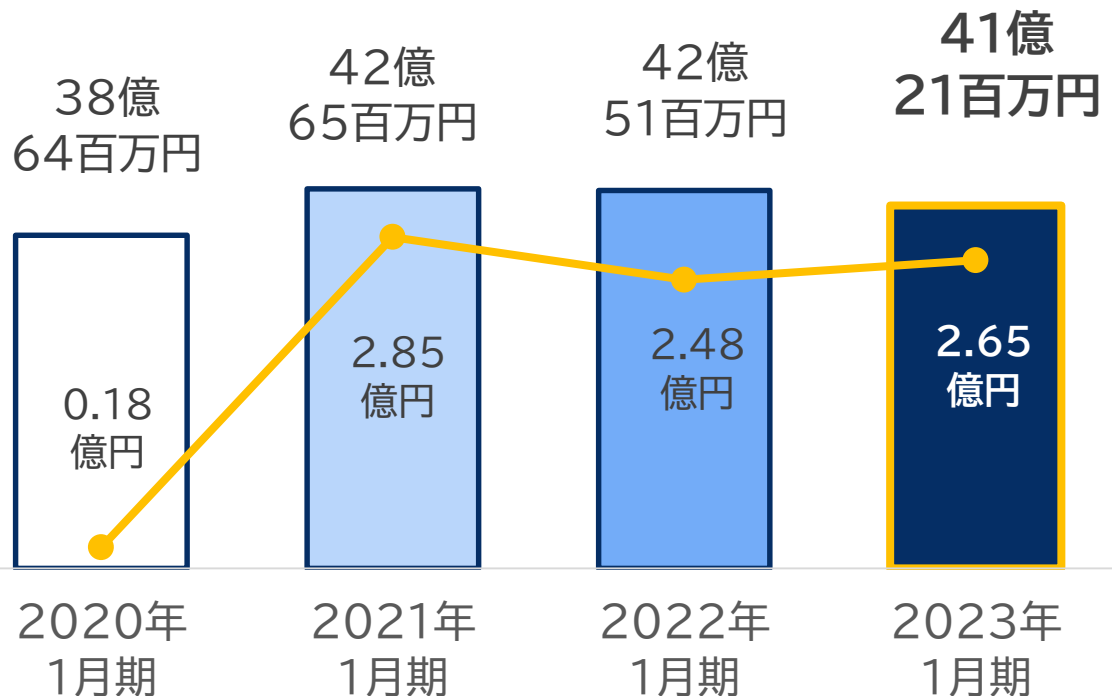
営業利益

2億65百万円

対前年 +17百万円

当期の概況

- 児童書分野及び専門書分野をあわせて、232点を刊行した（前期244点）。
- 専門書分野は新刊刊行の遅れがあった。
- 児童書分野では、話題書もあり好調に推移した。



減収増益

売上高

107億3百万円

対前年 -13億12百万円

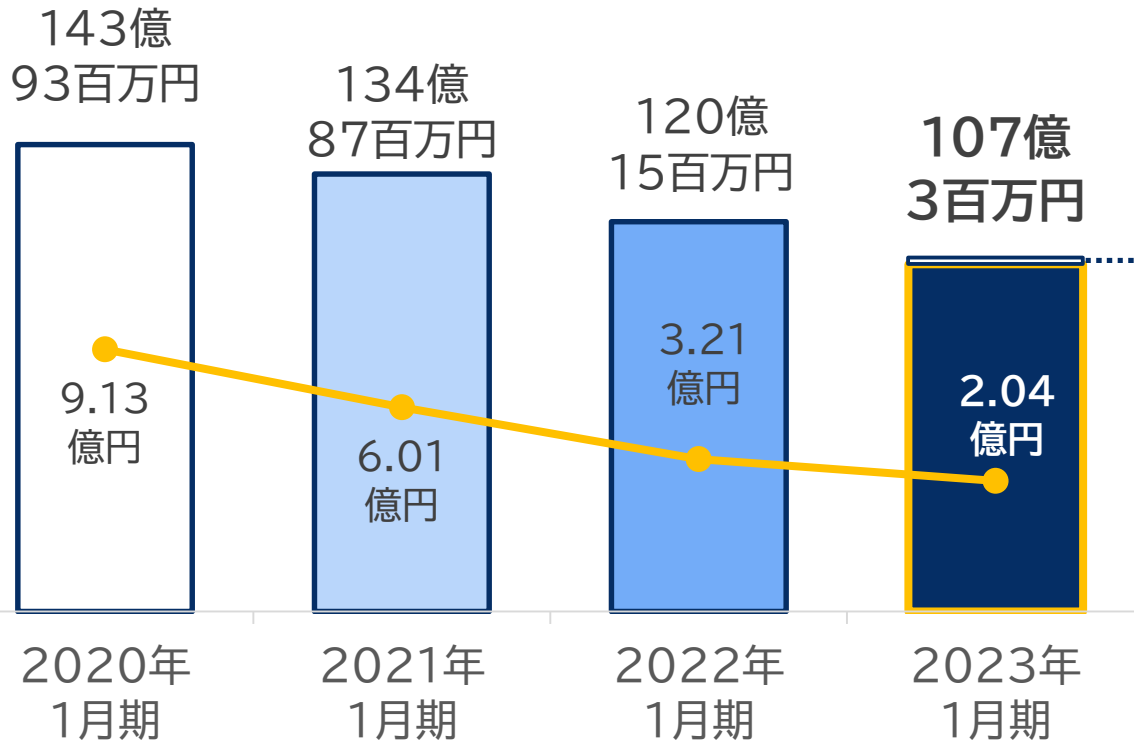
営業利益

2億4百万円

対前年 -1億17百万円

収益認識会計基準適用の影響 -1億98百万円

当期の概況



- 総合保育サービス事業は堅調に推移した。
- 店舗内装業も顧客の投資意欲は徐々に回復傾向にある。
- PCの修理・アップグレード設定等事業は半導体不足で一部部品に供給遅延が生じ、また行動制限緩和後も客足が戻らなかった。

減収減益

その他の事業報告につきましては

招集ご通知

13ページ から 27ページ を

ご高覧くださいますよう

お願い申し上げます

なお、対処すべき課題については

後ほど当期の取り組みとともに

ご説明いたします

◆連結貸借対照表

招集ご通知 28ページ

◆連結損益計算書

招集ご通知 29ページ

◆連結株主資本等変動計算書および 個別計算書類

招集ご通知 30ページ～33ページ

ご高覧くださいますよう
お願い申し上げます

対応すべき課題

グループ経営理念

価値観

知は社会の礎である

ビジョン

知の生成と流通に革新をもたらす
企業集団となる

主要戦略テーマ

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

II. 地域創生への貢献

III. 新しい書店収益モデルの創造

[市場環境変化に対する課題認識]

- 情報技術の急速な発展を背景に、教育コンテンツや学びのための場づくり等において、さらに質的向上が求められる。
- 少子高齢化・人口減少社会においては、社会や地域でこれまでにない課題が発生し、その課題へのソリューションニーズが生まれる。
- コロナ禍を経て定着した生活者の行動変容や、価値観の多様化に即した商品・サービスが必要となる。

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

- 教育のICT化、とくにGIGAスクール構想などをビジネスチャンスとし、教育の質的向上に貢献する商品・サービスを提供
- リカレント教育や社会人教育における事業開発の推進

Topics

TOOLi-Sタブレット版 ぽけっと図書館

書誌データベース「TRC MARC」と学校所蔵データを紐づけ、子どもたちが自ら多角的に本を探ることができる、タブレット版図書検索システム

子どもたちの図書検索から図書館を使った調べる学習、授業での活用をサポートするGIGAスクール端末で、学校図書館の活性化に貢献



Ⅱ. 地域創生への貢献

- 図書館や書店を核とした地域コミュニティや学びの場づくりへの貢献
- 大学との関係性を活かした、地域ごとの産学官連携のハブとしての役割

Topics

敦賀市 知育・啓発施設 「ちえなみき」

2022年9月1日に開業した、カフェ、ワーキングスペース、イベントスペース併設の公設民営型書店

企画・選書、デザイン・施工、書籍納品、運営業務受託まで当社グループで一括受注

地域と連携したイベントなどを開催し、本を介してコミュニティの活性化に貢献



Ⅲ.新しい書店収益モデルの創造

- 非書籍商品やサービス事業を拡大し、これまで書店顧客ではなかった客層を取り込み、収益力を強化
- セルフレジなど、ICTを活用した業務効率化を推進

Topics

Personal Lounge「丸善の三階」

2022年12月2日に丸善・丸の内本店に開業した読書、勉強、仕事のための有料ラウンジスペース

学びや気づきのヒントになる書籍・雑誌を揃え、静かにゆったりとした時間を過ごせる

今後、関西などでも既存店舗内に開設予定



これらの戦略テーマをさらに推進するために

拡大するデジタルコンテンツや5Gなど
急速に進化する情報技術を活用

ブランド
ノウハウ

×

ICT
(情報技術)

=

デジタルトランス
フォーメーションによる
戦略推進の加速

書籍調達力とデジタル
技術を活用したオンラ
インサブスクリプション
事業の立ち上げ

社会人向け学びなお
しのコンテンツプラッ
トフォームの開発

GIGAスクール構想、
教育のICT化を活用し
た、学びの質向上のた
めのツール開発

IV.戦略テーマを促進する新規事業開発

電子書籍を中心とした専門情報をサブスクリプションで提供することで、専門家の調査・分析業務（リサーチ業務）の効率化を提供するWebサービス「丸善リサーチ」を2023年中を目途に立ち上げる。

これまで培ったノウハウ

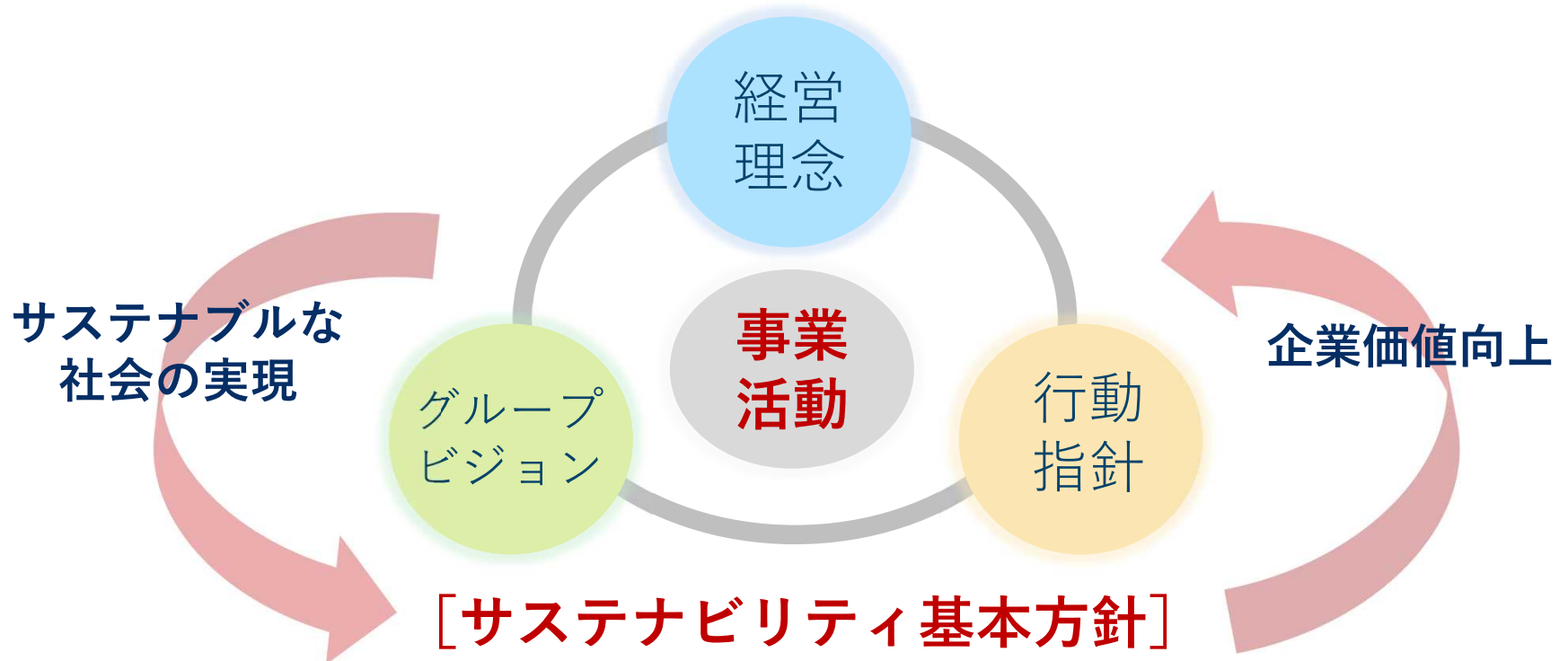
書籍
調達力

専門書の
目利き

+

デジタル
技術の活用

知や情報の活用に貢献する
新規サービス



- ❖ 「知は社会の礎である」という共通の価値観のもと、「知の生成と流通に革新をもたらす企業集団となる」というグループビジョンを掲げます。
- ❖ 知の生成や流通に関わるみなさまと共に、知を求めるすべての人々への接点を拡大し、知を中心とした持続可能な社会の形成に貢献する取り組みを行います。

重要課題（マテリアリティ）

サステナビリティに関する取り組みを推進するに当たり、
6つの重点課題（マテリアリティ）を選定し、対応する
SDGsについて施策を推進

4 質の高い教育を
みんなに



教育・学習機会の
促進への対策

5 ジェンダー平等を
実現しよう



人類の尊厳と
多様性の尊重

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



知のインフラ構築と
イノベーション推進

8 働きがいも
経済成長も



安全で活力ある
職場の実現

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



知の業界・地域・
社会との
パートナーシップ

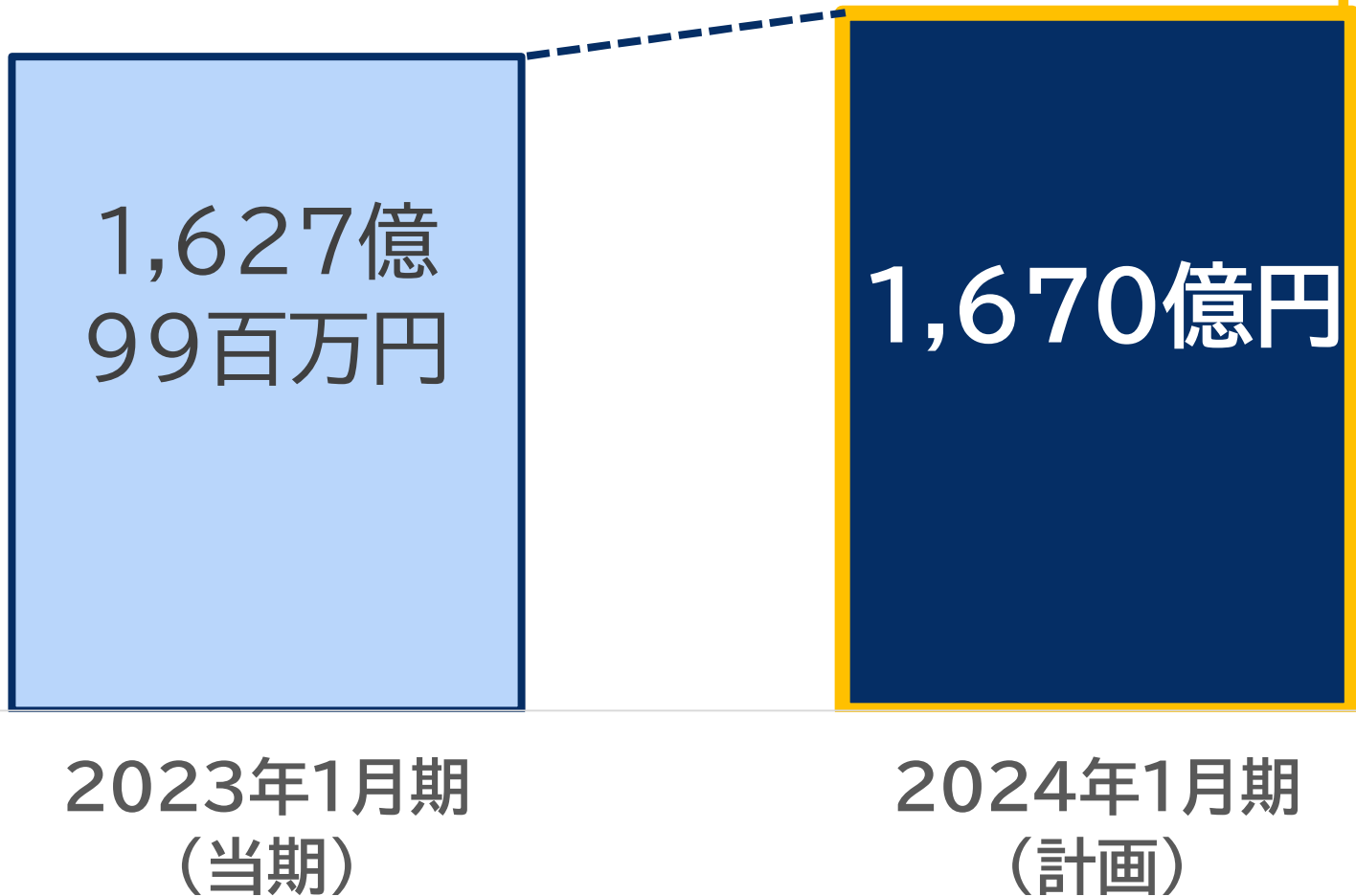
13 気候変動に
具体的な対策を

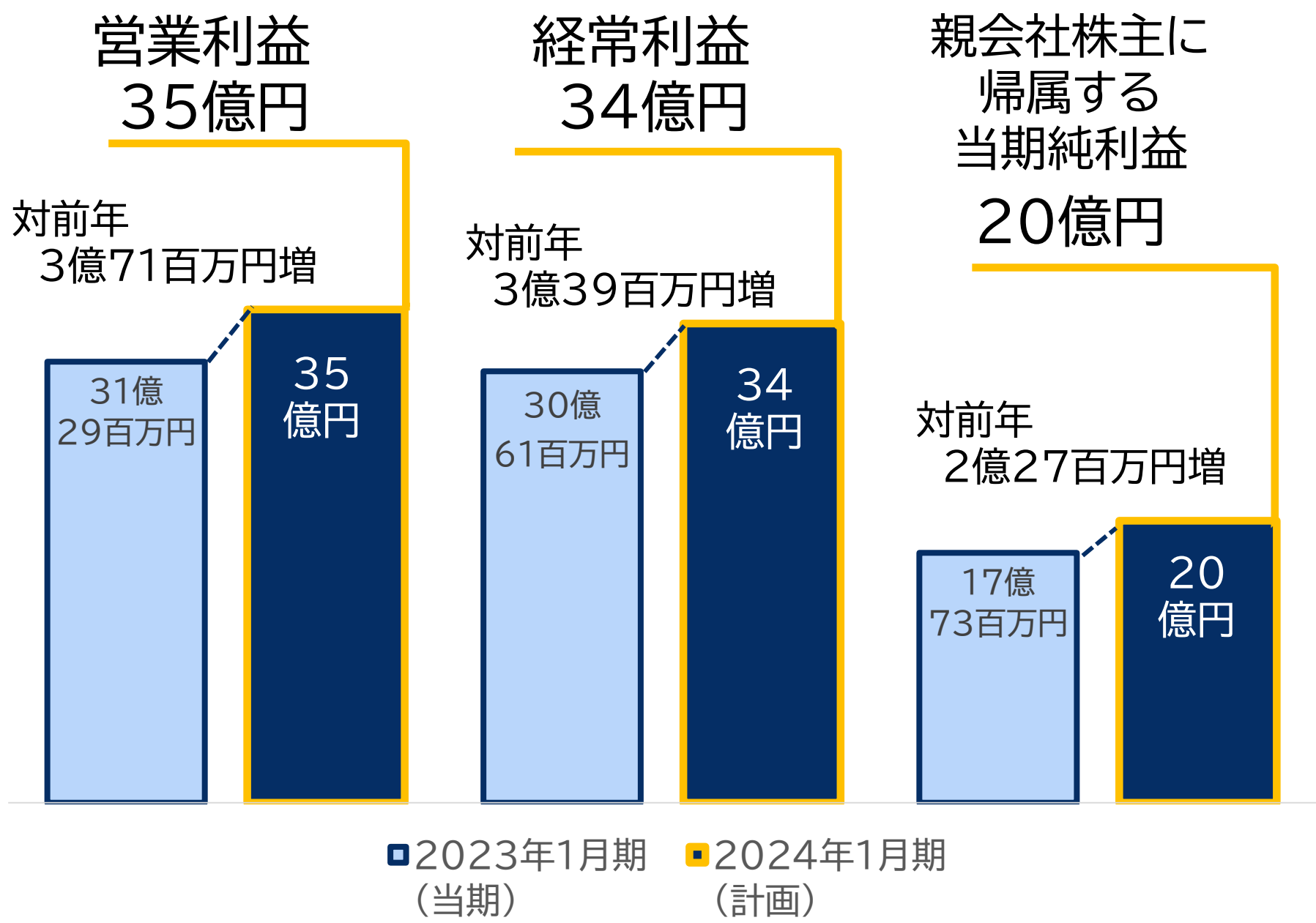


地球環境の保全
と気候変動への
対策

売上高1,670億円

対前年42億1百万円増





以上、対処すべき課題について
ご説明申し上げます

東証スタンダード市場における 上場維持基準の適合に向けた計画

2023年1月末日時点における
東証スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
当社の状況	31,446人	225,900単位	74億円	<u>24.4%</u>
上場維持基準	400人以上	2,000単位以上	10億円以上	25%以上

上場維持基準の適合に向けた計画

〔課題〕

- 当社は過去の経営統合、事業再編の経緯から関係会社、傘下の事業会社の取引先を中心とした国内法人による安定株主比率が高く、株式市場における流動性が低い状態である。

〔方針および取り組み〕

- 持続的な成長のための戦略と、企業価値向上に向けた施策をさらに推進する。
- 投資家の皆様への情報発信を充実させ、当社株式の魅力を高める取り組みに努める。
- 関係会社、傘下の事業会社の取引先などを中心に、保有株式の市場売却を打診する。

〔計画期間〕

- 2025年1月末日

今後ともご指導 ご鞭撻を賜りたく
宜しくお願い申し上げます

第13期 定時株主総会

**本総会でご審議いただく
議案の概要 ご説明**

第1号議案

剰余金の処分の件

【参考書類：5ページ】

第2号議案

取締役

(監査等委員である取締役を除く)

4名選任の件

【参考書類：6ページ～9ページ】

第3号議案

監査等委員である取締役

1名選任の件

【参考書類：10ページ】

第13期 定時株主総会

議案の採決

第1号議案	剰余金の処分の件
第2号議案	取締役(監査等委員を除く) 4名選任の件
第3号議案	監査等委員である取締役 1名選任の件

第13期 定時株主総会



MARUZEN CHI
Holdings